

(別記)

2021 年度南幌町農業再生協議会水田収益力強化ビジョン

1 地域の作物作付の現状、地域が抱える課題

当該地域は、空知平野の南西部に位置し、水田面積における主食用米面積の割合が約 41%となっている。転作作物では、麦・大豆の割合が多く、土地利用型農業の生産性向上を図っている。

担い手への土地の集積が進む中、労働力の不足が課題となりつつある。

主食用米の需要が減少し、水稻作付面積が減少傾向となっている。

そのほか、麦・大豆については、雑草、連作障害や排水不良、病害虫被害等による品質・収益性の低下が課題となっており、ほ場間・生産者間での生産性等の変動が見られる状況にあり、格差の是正が必要となっている。

2 高収益作物の導入や転作作物等の付加価値の向上等による収益力強化に向けた産地としての取組方針・目標

当該地域では、キャベツをはじめ、多様な高収益作物を生産しており、作付面積の維持・拡大により、一層の産地強化を図る必要がある。また、高収益作物の二毛作への支援を行うことで、更なる作付面積の維持・拡大を図ると共に、農地の高度利用による収益力の強化を図る。

転作作物については、適正な輪作により小麦の過作・連作を是正し、各作物の単収及び品質向上を図るとともに、省力化技術の推進により、安定的な供給や労働力不足の解消を目指す。

3 畑地化を含めた水田の有効利用に向けた産地としての取組方針・目標

当該地域では、需要に応じた水稻生産を行う中で、直播栽培等による省力化や生産基盤の整備による生産性の向上を図りながら、水張面積の維持に取り組んでいる。水田の利用状況の点検を実施することにより、現状の把握に努め、水田機能の維持・強化が図られるよう推進を行う。

4 作物ごとの取組方針等

(1) 主食用米

良品質米生産の徹底により産地としての地位を確保する。また、需要動向や実需の意向を踏まえた生産を行う。

(2) 備蓄米

生産者の作付意向を把握し、需要量に応じた生産を行う。

(3) 非主食用米

ア 飼料用米

今後の需要動向及び多収性品種の育種状況等を見据えた中で、直播栽培を取り入れるなど省力化等の生産コストの削減を図りながら、生産者の作付意向を把握し、需要

量に応じた生産を行う。

イ 米粉用米

生産者の作付意向を把握し、需要量に応じた生産を行う。

ウ 新市場開拓用米

生産者の作付意向を把握し、需要量に応じた生産を行う。

エ WCS用稲

生産者の作付意向を把握し、需要量に応じた生産を行う。

オ 加工用米

生産者の作付意向を把握し、需要量に応じた生産を行う。

(4) 麦、大豆、飼料作物、てん菜、小豆、そば、なたね

麦については、過作・連作による病害虫の発生により、収量及び品質の低下、ほ場間・生産者間での生産性等の変動が見られる状況にあり、格差の是正が地域の課題となっているため、病害の予察・予防の徹底により被害を最小限に抑え、産地としての信頼性を守るとともに、収益性の向上を図る必要がある。

大豆、飼料作物、てん菜、小豆、そば、なたねについては、作付を推進し、麦の過作・連作を回避し、麦の作付の偏重傾向からの脱却を図る。また、省力化技術の導入を支援することにより、労働力不足を解消し、作付面積の増加を図る。省力化技術の導入が困難な圃場や生産者については、土壌分析に基づく適切な肥培管理を実施し、収益性の向上を目指す。加えて、なたねの作付にあたっては、殺虫剤による防除を実施し、課題となっている虫害の低減を図り、作付の推進に係る産地の合意を形成する。

また、小麦収穫後の地力増進作物作付により、小麦を中心とした輪作体系を構成する転作作物の収量及び品質の低下、排水不良や土壌伝染性の病害等に対応し、一層の産地形成に取り組む。

(5) 高収益作物（園芸作物等）

キャベツをはじめ、多様な作物が生産されていることから、今後においても作付面積の維持による安定的な供給により、更なる産地強化を図ると共に、作付面積の維持、品質向上を図る。また、高収益作物の二毛作を支援することにより、作付面積の維持・拡大を図ると共に、農地の高度利用による収益力の強化を図る。

5 作物ごとの作付予定面積等

作物	前年度作付面積 (ha)	当年度の作付予定面積 (ha)	令和5年の作付目標面積 (ha)
主食用米	2,087.6ha	1,874.6ha	2,040.0ha
備蓄用米	0ha	0ha	0ha
飼料用米	17.1ha	174.1ha	22.0ha
米粉用米	0ha	0ha	0ha
新市場開拓用米	0ha	1.0ha	2.0ha
WCS用稲	0ha	0ha	0ha
加工用米	15.05ha	15.0ha	20.0ha
麦	1,608.1ha	1,670.0ha	1,617.0ha
大豆	611.4ha	653.0ha	660.0ha
飼料作物	27.8ha	30.0ha	34.0ha
・子実用とうもろこし	24.2ha	26.4ha	30.6ha
そば	0ha	2.0ha	3.0ha
なたね	51.3ha	55.0ha	57.0ha
高収益作物	178.7ha	180.0ha	185.5ha
・野菜	176.9ha	176.6ha	182.0ha
・花き・花木	1.8ha	3.4ha	3.0ha
・果樹	0ha	0ha	0ha
・その他の高収益作物	0ha	0ha	0ha
その他	333.3ha	314.7ha	333.5ha
・てん菜	97.7ha	114.0ha	120.0ha
・小豆	78.9ha	55.0ha	62.0ha
・地力増進作物	153.4ha	201.7ha	50.0ha
・その他	3.3ha	2.0ha	2.5ha
畑地化	0ha	0ha	0ha

6 課題解決に向けた取組及び目標

整理 番号	対象作物	使途名	目標	前年度（実績）	
				前年度（実績）	目標値
1	小麦	小麦病害予防予察助成	なまぐさ黒穂病による農耕面積 作付面積 調査取組率 縞萎縮病発生面積	2年度：0ha 2年度：1,608.1ha 2年度：100% 2年度：109.3 ha	5年度：0ha 5年度：1,617.0ha 5年度：100% 5年度：25.0ha
2	小麦	小麦品質向上加算	作付面積 品質向上の取組及び 地力増進作物作付面積	2年度：1,608.1ha 2年度：-	5年度：1,617.0ha 5年度：220.0ha
3	大豆	大豆振興助成	作付面積 省力化取組面積 単収	2年度：611.4ha 2年度：506.0ha 2年度：283kg/10a	5年度：660.0ha 5年度：562.0ha 5年度：290kg/10a
4	飼料作物	飼料作物振興助成	作付面積 省力化取組面積 飼料用とうもろこし単収	2年度：27.8ha 2年度：24.2ha 2年度：866kg/10a	5年度：34.0ha 5年度：32.0ha 5年度：800kg/10a
5	なたね	なたね振興助成	作付面積 省力化取組面積 単収	2年度：51.3ha 2年度：51.3ha 2年度：391kg/10a	5年度：57.0ha 5年度：57.0ha 5年度：395kg/10a
6	野菜、花き	高収益作物振興助成	作付面積	2年度：178.7ha	5年度：185.5ha
7	てん菜	てん菜振興助成	作付面積 省力化取組面積 単収	2年度：97.7ha 2年度：74.5ha 2年度：8,274kg/10a	5年度：120.0ha 5年度：105.0ha 5年度：8,300kg/10a
8	小豆	小豆振興助成	作付面積 省力化取組面積 単収	2年度：78.9ha 2年度：58.3ha 2年度：244kg/10a	5年度：62.0ha 5年度：44.0ha 5年度：271kg/10a
9	地力増進作物	輪作確立支援助成	3ヵ年以上の秋小麦 連作圃場面積 作付面積	2年度：- 2年度：28.1ha	5年度：280.0ha 5年度：50.0ha
10	地力増進作物	圃場環境保全助成	作付面積	2年度：125.3ha	3年度：-
11	野菜（二毛作）	高収益作物作付助成 （二毛作）	作付面積	2年度：-	5年度：20.0ha
12	そば	そば作付助成 （追加配分）	作付面積	2年度：0ha	5年度：3.0ha
13	なたね	なたね作付助成 （追加配分）	作付面積	2年度：51.3ha	5年度：57.0ha
14	新市場開拓用米	新市場開拓用米 作付助成 （追加配分）	作付面積	2年度：-	5年度：2.0ha
15	飼料用米・米粉 用米	飼料用米・米粉用米 の複数年契約 （追加配分）	取組面積・数量 作付面積・数量	2年度：17.08ha・98.28t 2年度：17.08ha・98.28t	4年度：22.0ha・119.0t 4年度：22.0ha・119.0t